



Jacobs School Technology Symposium - Contextual Robotics

「UC サンディエゴにおける状況適応型ロボット技術の研究」シンポジウムのご案内

カリフォルニア大学サンディエゴ校(UC サンディエゴ) は9月4日に東京・日本橋で技術シンポジウムを開催します。今年で3回目を迎えます工学部の東京シンポジウムは、日本の産官学の皆様とUC サンディエゴとの協力関係を築いていくことを狙いとしています。

今年は、UC サンディエゴ「状況適応型ロボット技術研究機構(CRI)」における革新的な研究の取り組みをご紹介します。CRIではさまざまな研究チームが、自動運転、コネクテッド・ヘルスケア、エイジング・イン・プレイス(住み慣れた地域で自分らしく最後まで)のためのロボット技術におけるグランドチャレンジに取り組んでいます。

CRIは長期的にはリアルタイムで実世界の社会に奉仕するロボットの開発を目指しています。こうしたロボットシステムは、人や状況といったまわりの環境に適応し、進化し、状況に応じた解決策をみずから創り出すものとなります。また、そうしたロボットシステムはセキュリティー性の高いものでなければなりません。

私たちはロボットにまったく新しい機能性を付加すべく、根本的な研究課題の解決に取り組んでいます。いろいろな環境でロボットが自律的に動作できるようにする技術はその例の一つです。

このような研究にはまったく新しいアプローチが必要です。UC サンディエゴでは、ハードウェア、ソフトウェア、認知科学、デザイン、マシンラーニング、材料、セキュリティーなどの分野で世界トップクラスの専門家の英知を結集し、先進的な研究を進めています。

東京で開催するUC サンディエゴ工学部の技術シンポジウムへの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

[プログラム] (講演は英語で行われます)

- 12:30-1:00 受付&ネットワーキング
- 1:00-1:10 開会の辞 和賀三和子 国際アウトリーチディレクター
- 1:10-1:30 "工学部における状況適用型ロボット技術、ウェアラブルセンサー、デジタルフューチャーのイニシアティブ"- アルバート・ピサノ工学部長
- 1:30-2:15 "米国のロボット技術ロードマップとUC サンディエゴ「状況適応型ロボット技術研究機構」のご紹介"- ヘンリック・クリステンセン教授 CRIディレクター
- 2:15-3:00 "自動運転車の研究"- トッド・ヒルトン教授 CRIエグゼクティブディレクター
- 3:00-3:45 小休憩&ネットワーキング
- 3:45-4:15 "エイジング・イン・プレイスのためのロボット技術"- タハナ・ロシング教授
- 4:15-4:45 "工学部におけるアントレプレナーシップと技術加速化プログラム"- ジャン・デヘッシュ 事業開発ディレクター

4:45-5:00 "コラボレーションモデルのまとめ" (日本語) – 和賀三和子 国際アウトリーチディレクター
5:00-5:15 質疑応答
5:15-5:20 閉会の辞 – アルバート・ピサノ 工学部長
5:30-7:30 ネットワーキングレセプション (LINK-J 主催)
プログラムはやむを得ない事情により変更する場合がございます。

下記の開催詳細をご覧ください、ぜひ足をお運びくださいますようお願い申し上げます。ご不明の点などございましたら、tokyooffice@ucsd.edu までお問い合わせください。

UC サンディエゴ 国際アウトリーチディレクター 和賀 三和子

日時:2017年9月4日(月)12:30 開場 1:00 開始 5:20 終了 5:30-7:30 ネットワーキングレセプション

場所:日本橋ライフサイエンスビル 9 階講義室(〒103-0023 中央区日本橋本町 2-3-11)

プログラムと参加お申込みサイト:<https://www.eventbrite.com/e/jacobs-school-technology-symposium-in-tokyo-contextual-robotics-tickets-36322390247> (パスワード「JSOECR2017」)

参加費:\$100 (Jacobs School の Agile Center や Research Institute の会員企業は無料になりますので、割引コードについてお問い合わせください。)

